

令和 2年 3月

濱崎佐和子 学位論文審査要旨

主 査 花 島 律 子
副主査 渡 邊 達 生
同 海 藤 俊 行

主論文

Constitutive accessibility of circulating proteins to hippocampal neurons in physiologically normal rats

(生理学的に正常なラットにおける海馬ニューロンへの循環タンパク質の恒常的なアクセシビリティ)

(著者：濱崎佐和子、椋田崇生、小山友香、中根裕信、海藤俊行)

令和2年 Brain and Behavior 掲載予定

参考論文

1. Short-term heat exposure promotes hippocampal neurogenesis via activation of angiotensin II type 1 receptor in adult rats

(短時間の暑熱曝露はアンギオテンシンII 1型受容体の活性化を介して成熟ラットの海馬神経新生を促進する)

(著者：小山友香、椋田崇生、濱崎佐和子、中根裕信、海藤俊行)

平成30年 Neuroscience 385巻 121頁～132頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は生理状態のラットを用いて、海馬への血中タンパク質の侵入を検討したものである。血中タンパク質の脳への移行は、血中アルブミンと結合する色素Evans blueを指標として評価した。その結果、これまで病態でしか血中タンパク質の侵入が検出されていなかった海馬に、生理状態でも血中タンパク質が僅かに侵入していることが示された。本研究成果は、新たな神経解剖学的所見であり、「海馬には血液脳関門があるために血中因子は作用しない」とするこれまでの知見を再考する立脚点となり得るものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。